

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、地域の文化や伝統を尊重し、「生きる力」の理念を重視して、生涯を通して知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指す。学んだことを必要なときに使える児童の育成を図る。 【○ゆたかな子 ○かんがえる子 ○つよい子】

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○子供も教師も明るく生き生きと輝いている学校 ○子供・教師・保護者・地域の願いや想いを大切にする学校 ○保護者・地域から「おらが学校」として信頼され共に子供を育成する学校
○児童・生徒像	○新しいことに挑戦し、失敗からも学び、やりきることのできる子供 ○明るくいいきと自己表現する子供 ○思いやりの心もち、目を輝かせて学び、遊び、働く子供 ○人や自然と積極的に関わり、共に生きる子供
○教師像	○子供と共に汗し、喜びや悲しみを分かち合う教師 ○子供のよさや失敗を認め、励まし、子供の学びにつなげることのできる教師 ○温かな学習集団を創り日々の授業の充実を目指して、挑戦する教師 ○学校運営やPTA、地域行事に進んで取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【成果】

- ・4月実施の区学力調査では、通過率、国語 86.5% 算数 85.7%で昨年度よりおよそ3ポイント上回った。板書の工夫やノート指導とともに適所にタブレット等ICT機器を使った授業の工夫や改善の成果と考えられる。
- ・説明する力が付いている。低学年で学習した順序を表す言葉や理由を表す言葉を使って説明できるようになってきている。
- ・問題解決型のスタンダードによる授業展開により、どの児童も事前に学習の仕方がわかり、学習内容に注目できるようになってきている。
- ・12月中に中一合宿問題を4年生以上で実施した。4年生までの計算問題は8割以上の児童ができるようになった。

【課題】

- ・学校全体での朝の生活習慣、学習に向かうルーティーンの活用・定着を新学年のスタート時からできるようにすること
- ・国語を理解し活用すること。算数等では論理的思考ができるように、図や式等活用できること
- ・各教科で学んだことを他の分野でも活用できること 主体的に学ぶこと
- ・「教師と児童との関わりを通して」「児童同士の関わりを通して」授業の中で育み、ICT機器の活用をも含め、「成長できるというマインド」をさらに育てていくこと

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	◎	○	○
2	個の尊重とあたたかな人間関係の育成	○	◎	○	○	○
3	体力の向上と健康・安全	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
足立区学力調査の目標とする通過率を向上させる。		4月実施：国語・算数 82%以上 2月実施（確認）：国語 75%以上 算数 80%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	主体的・対話的な学習のできる集団づくり	全学年 道徳科 特別活動	通年	・Hyper-QU (Web) の活用 学びの中心となる学級のあたたかな学習集団づくり ・学年で分析・工夫改善	年2回の Hyper-QU の実施 満足群の増加	満足群半数以上	自己評価の際に記入		
2 継続	ゴールを意識した授業改善による学力向上	全学年 国語科・算数科	通年	・足立スタグマートによる問題解決型授業の推進（用語の活用・振り返りの重視） ・プログラミング的思考の推進・読解力の向上	区学力調査問題 単元テスト ポートフォリオ	目標値達成 国語 85%以上 算数 85%以上			
3 継続	習熟度別指導授業・補充	全学年 算数科	授業時間 放課後	1年：週4時間 2年以上週5時間の習熟度別指導 週2回以上放課後補充教室	単元テストおよびベーシックドリル	80%以上の児童が単元テストで80点以上			
4 継続	ICT機器・タブレット等の活用	全学年 全教科	通年	・AIドリル、デジタル教科書等、適所でICT機器の活用 ・計算の習熟・漢字の読みや意味調べ・調べ学習	週案 アクセス数等	タブレット・AIドリル等ICT機器の活用数2回/日以上			
5 新規	タブレットの文字入力	高学年 国語科・総合	通年	タイピングソフトの活用 ローマ字入力	文字入力数	3分間で60文字以上達成			
5 継続	読みの基礎の定着	1学年 国語科	通年	MIMの活用 特殊音節の読みに焦点	MIMアセスメント	3rdステージ 0			
7 継続	朝学習（パワーアップタイム）	全学年 国語 算数	週3回 10分間	3分間視写 計算 読書等	視写ファイル等	視写速度等の向上・定着			

重点的な取組事項－２		個の尊重とあたたかな人間関係の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分の心との対話の育成 道徳教育の充実 感謝の気持ちの醸成		児童アンケート調査 (7月 12月の計2回実施) ・「挨拶」「正しい言葉遣い」「良好な 友達関係」4段階のB以上90%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳科の授業の充実	・道徳教育の要として道徳の授業の改善・充実	・ポートフォリオの活用（全学年）ICT機器の活用 ・「思いやり」「生命尊重」の項目の重点的な扱い	自己評価の際に記入		
「言葉は心」 挨拶・あたたかな言葉遣いと返事の励行	・児童アンケート調査 「挨拶」「正しい言葉遣い」B以上90%以上	・生活指導目標・言葉の月目標について具体的指導の実施 ・あたたかな言葉遣い、文で話す指導（～です。～ます。を基本）			
自尊感情・規範意識 思いやりの心の育成	・児童のアンケート調査 「良好な友人関係」B以上90%以上	・アンケート・SSTの活用 ・フェルマータ・タイムの活用 自分の行動や心の振り返りの対話の時間を設ける。 ・特別支援教育個別の手法の共有 校内委員会（月1回）			
80周年関連行事等に主体的に関わる。	・児童アンケート調査 児童アンケート調査 B以上90%以上	・運動会、展覧会、周年関連集会等特別活動の取り組み			

重点的な取組事項－3		体力の向上と健康・安全			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身ともに健康な児童の育成 運動に取り込む意欲や感情をコントロールし最後までやり遂げる態度の育成 児童の安全意識の向上		・生活調査アンケート「早寝」80%「早起き」90%「朝ご飯」98%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
落ち着いた生活習慣の確立	・登校、朝の時間のルーティンづくり 「早寝」80%以上「早起き」90%以上「朝ご飯」98%以上	・挨拶、靴揃え、廊下歩行の指導、児童の実践を促す。 ・授業規律、名札の着用、手洗い・うがい等の指導を通し学習に向かうルーティンをつくる。 ・フェルマータ・タイムの活用 学習に向けた午後の落ち着いた生活習慣づくり	自己評価の際に記入		
体力の向上	・体育科の実践、外遊びの励行 ・姿勢・体幹・学習体力を意識した取組	・多様な動きをつくる運動を年間計画に組み込む。 ・業間の活用（児童教員と共に活動・場の工夫） ・姿勢の保持			
健康教育と食育の推進	・食育の授業「もりもりウィーク」の実施	・保健指導、保健だより等を活用し、家庭との連携・自己評価による早寝・早起き・朝ご飯の習慣化 ・「食育授業（年2回）」「給食だより（月1回）」「郷土食」「もりもり給食ウィーク（年3回）」等食育の推進			
安全・防災教育の推進	・社会の状況に対応し、想定範囲を拡張した避難訓練の実施（諸機関との連携） ・安全指導の実施	・諸機関との連携、地震、水害、不審者対応訓練等の実施 ・水害時マタイムラインの活用 ・アレルギー対応訓練 ・危険予測、危険回避能力の育成			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）